

大切な住まい 自分で見極める

安全性

性能

機能性

フロアコーティングの
品質の基準とは

何を基準にフロアコーティングを選んでますか？

住まい購入後、多くの方が初めて意識するフロアコーティング。
フロアコーティングの品質基準が曖昧な場合、不安のまま工事をするに。
不安を解消するためには、事前に安心できる品質基準を知ることがとても重要です。

①フロアコーティングの安全性の確認

フロアコーティング剤は、大きく分けると「水性タイプ」と「油性タイプ」の2種類があります。現在、耐久性や耐候性に優れる「油性タイプ」の製品が多く使用されています。油性タイプは、水性タイプに比べ耐久性が高い反面、使用する有機化合物によっては取り扱いが難しい場合があります。そのため、関連法令も定められており、安全性を確認するためには第三者機関による登録書や認定書、試験評価書などで安全性を確認することは必須となります。



フロアコーティングを取り扱う企業への安全性の確認基準

● F☆☆☆☆認定機関発行の登録書や認定書の確認

F☆☆☆☆登録書や認定書は、建築基準法に基づくホルムアルデヒド対策において、非常に重要な役割を果たします。安全で快適な住環境を実現するために、フロアコーティング剤を選ぶ際には、F☆☆☆☆登録証明書の有無を必ず確認しましょう。



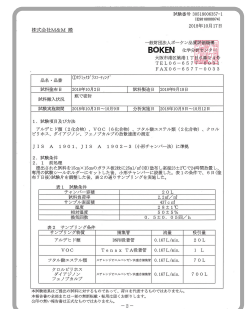
● 急性皮膚刺激性の安全性エビデンス確認

急性皮膚刺激性試験は、化学物質などが皮膚に接触した場合に、皮膚に炎症や損傷を引き起こす可能性（皮膚刺激性）を評価する試験です。皮膚と接触することのあるフロアコーティング層の皮膚に対しての安全性を確認した第三者機関の試験書を確認しましょう。



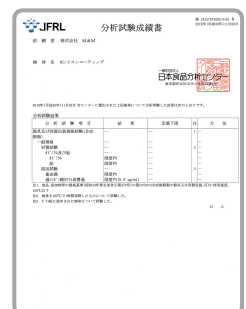
● VOC13物質の放散速度のエビデンス確認

VOC（揮発性有機化合物）は、常温で気体になる有機化合物の総称です。トルエン、キシレンなど多種存在し、室内空気汚染の原因となります。厚生労働省は13種類のVOCについて指針値を設定。VOCの安全性を確認した第三者機関の試験書を確認しましょう。



● 食品衛生法(器具及び包装容器)試験のエビデンス確認

フロアコーティングを施工した床に食品接触の可能性はあり、コーティング剤から有害物質が溶出するリスクも。特に、床に触れた食品やペットが床を舐める可能性も考慮し、フロアコーティング層から有害物質の溶出は安全か第三者機関の試験書で確認しましょう。



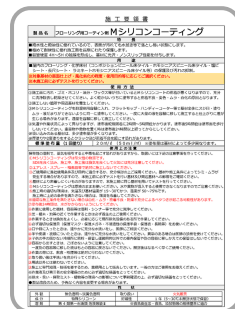
●SDS(Safety Data Sheet:安全データシート)の確認

化学物質のSDSは、安全確保に不可欠な情報源です。危険性や取扱情報に加え、使用物質も記載。事業者はSDSに基づき、リスクアセスメントと安全対策を実施する必要があります。コーティング剤の成分確認を含め、SDSの内容を必ず確認しましょう。



●施工要領書や仕様書の確認

フロアコーティング剤を適正に使用し、性能を最大限に引き出し安全かつ効率的に施工するためのものです。適切な使用と作業をすることで品質の確保と作業の向上になります。仕様書を準備していることで、商品の品質と技術へと繋がりますので確認しましょう。



●有機溶剤作業主任者国家資格の確認

フロアコーティングを取り扱うには「国家資格」が必要です！



有機溶剤を含むフロアコーティング剤は、耐久性や耐候性に優れていますが、専門的な知識と経験が必要です。そのため、労働安全衛生法により、作業現場には有機溶剤作業主任者の配置が義務付けられています。

有機溶剤作業主任者は、有機溶剤の扱いに伴う危険性を熟知し、作業方法の決定、換気装置の点検、保護具の使用状況の確認、作業環境の測定など、安全対策を徹底する専門家です。この資格は、単なる法的義務ではなく、作業者の安全と健康を守るための重要な措置です。事業者は、有機溶剤作業主任者の指導のもと、有機溶剤を適切に管理・使用し、労働災害の防止に努める必要があります。

有機溶剤を使用するフロアコーティング剤をご利用になる際は、事前に作業現場に有機溶剤作業主任者がいるかどうかの確認が必要です。

一部、指定有機溶剤を含まないフロアコーティング商品もあります。

●エビデンス＝第三者機関の認定証・登録書・評価試験書を確認する！

工事を依頼される方、または企業様は、フロアコーティングの安全性確認として、第三者機関が発行した認定書や登録書、試験書などの資料を、事前に施工会社より取り寄せることが重要です。パンフレットやホームページに掲載されている情報だけでは不十分です。安全性を示す確かな資料を確認することで、安心して工事を依頼できます。これらの資料は、安全性を証明する資料ですので企業秘密書類ではなく、利用者へ提供・閲覧可能な資料です。



②フロアコーティングの性能の確認

フロアコーティングは、床材の保護、美観維持、清掃性向上など、多岐にわたるメリットを謳う企業が多数存在します。しかし、その性能を鵜呑みにせず、客観的な評価基準に基づく確認が重要です。性能評価の信頼性を担保するには、自社評価ではなく、第三者機関による試験結果書が不可欠です。特に、国内唯一の塗料検査機関である（一財）日本塗料検査協会（JTIIA）によるJIS規格に基づく評価試験書は、フロアコーティング塗膜性能を客観的に判断するための重要な資料となります。



フロアコーティングを取り扱う企業への安全性の確認基準

●フロアコーティング層の硬度(硬さ)の性能評価エビデンス確認

試験項目：引っかき硬度評価試験 **【塗膜の硬さを評価する試験】**

試験方法：JIS K 5600-5-4:1999 塗料一般試験方法-第5部
塗膜の機械的性質-第4節:引っかき硬度(鉛筆法)に準ずる

※引っかき硬度の最高値は「6H」となり、8Hや9Hなどの値はありません。

●フロアコーティング層の傷の性能評価エビデンス確認

試験項目：耐傷性評価試験 **【傷に対しての強度を評価する試験】**

試験方法：JIS K 5600-5-11:2014 塗料一般試験方法-第5部
塗膜の機械的性質-第11節:耐洗浄性に準ずる

●フロアコーティング層の摩耗性の性能評価エビデンス確認

試験項目：耐摩耗性評価試験 **【摩擦や摩耗に対して評価する試験】**

試験方法：JIS K 5665-5:2016 路面標示用塗料 8.17
摩耗性 a) 1種及び2種の場合に準ずる

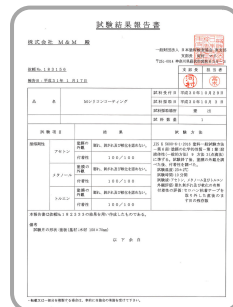
●フロアコーティング層の付着(密着)の性能評価エビデンス確認

試験項目：付着性評価試験 **【床材との付着度を評価する試験】**

試験方法：JIS K 5600-5-6:1999 塗料一般試験方法-第5部
塗膜の機械的性質-第6節：付着性(クロスカット法)に準ずる

●フロアコーティング層の耐薬品性の性能評価エビデンス確認

試験項目：耐溶剤性評価試験【溶剤に耐えられるか評価する試験】
 試験方法：JIS K 5600-6-1:2016 塗料一般試験方法-第6部
 塗膜の科学的性質-第1節：耐液体性(一般的方法)
 9方法 3(点滴法) に準ずる。



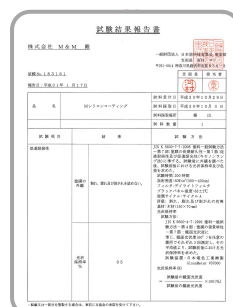
●フロアコーティング層の耐候性の性能評価エビデンス確認

試験項目：促進耐候性評価試験【耐候・耐久性を評価する試験】
 試験方法：JIS K 5600-7-7:2008 塗料一般試験方法-第7部
 塗膜の長期耐久性-第7節：促進耐候性及び促進耐候性
 (キセノンランプ法)に準ずる。



●フロアコーティング層の耐衝撃性の性能評価エビデンス確認

試験項目：耐衝撃性評価試験【衝撃に対して評価する試験】
 試験方法：JIS K 5600-5-3:1999 塗料一般試験方法-第5部
 塗膜の機械的性質-第3節:耐おもり落下性 6
 デュボン式に準ずる。



●フロアコーティング層のすべりの性能評価エビデンス確認

試験項目：すべり性評価試験【滑りにくさを評価する試験】
 試験方法：JIS A 1454:2016 高分子系張り床材試験
 方法 17 滑り性試験に準ずる
 (ゴムシート / 靴下 / スリッパ)



●エビデンス＝第三者機関にて試験した各性能評価試験書を確認する！

フロアコーティングの工事を依頼する方や紹介する企業は、フロアコーティングの性能を確認するため、施工会社へ第三者機関による性能評価試験書の提示を求めましょう。試験機関名と試験機関の捺印がある資料は、客観的な性能証明となります。自社作成の性能比較表だけでは不透明な場合があります。耐摩耗性、耐薬品性など、具体的な性能項目が記載された試験書で、コーティング層の性能や品質をしっかりと確認することが重要です。これにより、安心してフロアコーティングをご利用することができます。

高性能商品には
それを裏付ける
エビデンスがある



③フロアコーティングの機能性の確認

近年の床材は、抗菌・抗ウイルス機能を持つ製品が増加傾向にあります。これらの機能性床材に通常のワックスやコーティングを施すと、その機能が損なわれる可能性があるため注意が必要です。しかし、フロアコーティング剤の中にも抗菌・抗ウイルス機能を備えた製品が存在します。機能性床材へのコーティングを施工する際は、第三者機関による登録書や認定書、試験評価書などで、床材の機能性とコーティング剤の機能性が同等であるのかを確認する必要があります。



フロアコーティングを取り扱う企業への機能性の確認基準

●抗菌機能に対し機能性評価エビデンスとSIAA登録証明書確認

試験項目：抗菌性試験 **【細菌の増殖抑制機能を評価する試験】**

試験方法：JIS Z 2801 抗菌加工製品

抗菌性試験方法・抗菌効果 5項 試験方法による

※床材メーカーが取得しているSIAA for 抗菌マーク基準と同様の試験基準



●抗ウイルス機能に対し機能性評価エビデンスとSIAA登録証明書確認

試験項目：抗ウイルス性評価試験 **【ウイルス減少機能を評価する試験】**

試験方法：ISO 21702:2019 洗い出し液:SCDLP培地

※床材メーカーが取得しているSIAA for 抗ウイルスマーク基準と同様の試験基準



●防カビ機能に対し機能性評価エビデンスとSIAA登録証明書確認

試験項目：かび抵抗性評価試験 **【かびの生育抑制機能を評価する試験】**

試験方法：抗菌製品技術協議会 防カビ加工製品の防カビ効力

評価試験法 JIS Z 2911:2018 プラスチック製品の試験 方法B

※床材メーカーが取得しているSIAA for 防かびマーク基準と同様の試験基準



●エビデンス＝機能性評価試験書やSIAA登録証明書を確認する！

目に見えない細菌やウイルスへの抑制効果を、JIS・ISO規格へ基準化した(一社)日本抗菌製品技術協議会。多くの床材メーカーも安全と機能の評価基準とする同協議会発行の製品登録証明書は、安全で高機能な製品を選ぶ上で重要な確認事項の1つです。

SIAAのホームページはこちら





安全・性能・機能性のエビデンス以外で安心できる基準

●建設業許可を取得している

フロアコーティング業界は、工事規模が比較的小さいため建設業許可を持たない業者が多数です。しかし、許可取得には経営経験、技術力、財産的基盤など厳しい条件を満たす必要があり、専門性の高い業者である証明となります。建設業許可は、業者を選ぶ際の安心材料の一つとなり信頼できる業者を見極める上で重要な指標の一つです。

建設業の許可票			
商号又は名称	株式会社 M & M		
代表者の氏名	代表取締役 篠原 充		
一般建設業又は特定建設業の別	許可を受けた建設業	許可番号	許可年月日
一般建設業	内装仕上工事業	東京都知事許可(般-6)第150596号	2029年7月24日
この店舗で営業している建設業	内装仕上工事業		
M&M Craftsman Floor Coating			

●ISO9001を取得している

ISO9001は、国際的な品質マネジメントシステム規格です。取得企業は、品質管理体制が確立されており、製品やサービスの品質が安定します。満足度の高い製品やサービスを楽しむことができ、安心して取引できる基準となります。品質、顧客満足度、信頼性、効率性、リスク管理の面で優れており、企業を選ぶ際の重要な指標の一つです。

ISO9001:2015取得証明書



●(一社)日本ハウスコーティング協会加盟店である

フロアコーティングは、長期保証を謳う業者が多いものの、廃業リスクが懸念されます。しかし、(一社)日本ハウスコーティング協会に加盟する企業は、廃業時に保証を引き継ぐ体制を整えています。これにより、顧客は安心して施工を依頼できます。さらに、同協会では、高度な技術と知識・経験を持つ職人を「フロアコーティングマイスター」として認証しています。厳しい筆記・実技試験をクリアした職人による施工は、技術面でも信頼性が高いと言えます。(一社)日本ハウスコーティング協会は、保証と技術の両面から、消費者が安心してフロアコーティングを依頼できる環境を提供していますので、長期的な安心と満足を求めるなら、信頼できる業者を見極める上で重要な指標の一つです。

フロアコーティングマイスター認定書 フロアコーティング剤の認定・登録書



日本ハウスコーティング協会加盟店書



【フロアコーティング選びの重要ポイント】

フロアコーティングには様々な種類があり、例えばシリコンタイプでも、企業が独自の商品名を付けて「○○○フロアコーティング」と表記することがあります。これにより、シリコンタイプとは異なる商品であるかのように誤解されるケースも見受けられます。

このように、利用者にとってコーティングの種類や施工会社が多岐にわたり、何を基準に選べば良いか分かりにくい状況が生じています。

【フロアコーティング剤の違い】

フロアコーティングを取り扱う企業が、必ずしも同じコーティング剤を使用しているわけではありません。企業ごとに異なるコーティング剤を使用している場合があるため、安全性・性能・機能性など、第三者機関による試験報告書や登録書を事前に確認し、比較検討することが重要です。

【フロアコーティングご注文時の注意点】

フロアコーティングは一度施工すると長期間効果が持続しますが、容易に剥がしたり交換したりできるものではありません。そのため、施工前にエビデンスをしっかりと確認・比較し、慎重に選ぶことが大切です。

お客様が安心して最適なフロアコーティングを選べるよう、安全性・性能・機能性に関する確かなデータに基づいた情報提供に努めます。

株式会社M&M 品質管理部

フロアコーティング選びは「エビデンス」の確認から



抗菌製品技術協議会協会加盟店
日本ハウスコーティング協会加盟店

M&M 株式会社M & M

〒176-0012

東京都練馬区豊玉北4-23-11

TEL : 03-5946-2411

FAX : 03-5946-2416

mail : info@m-m.bz

